

2022年9月22日

報道資料

一般社団法人電子情報技術産業協会

JEITA、各種報告書や刊行物が閲覧できる会員限定の電子図書館の新設を発表 70年を超える電子情報産業の歴史的資料をデジタル化

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）は、各種報告書や刊行物をオンラインで利活用すること目的とし、「JEITA 電子図書館」をデジタルの日である10月3日に新設することを発表しました。会員限定のサービスとして展開し、当初は1959年から現在までの約700冊の報告書や出版物を公開します。従来は紙媒体で保管していたもののデジタル化を進めることで、会員向けの利便性向上につなげるとともに、利活用を促進します。

JEITAは電子部品やデバイス、電子機器やITソリューションなど幅広い対象分野を有する業界団体です。前身である無線通信機械工業会（1948年設立、1958年に日本電子機械工業会（EIAJ）へ改称、同年設立した日本電子工業振興協会（JEIDA）と2000年に統合）の設立から70年を超える歴史を持つことから幅広い文書資産（報告書・刊行物等）を有する一方、現存する文書資産には紙媒体が多いことから利活用や保管面などで課題がありました。その解決策として、従来の紙媒体の電子化を推進、電子ブック形式で公開することで、どこからでも閲覧できるようにするとともに、横断的に検索できるツールを導入することで、利便性を向上させます。今後はさらなるデジタル化を推進し、より多くの報告書や刊行物をJEITA電子図書館で公開できるように努めてまいります。

JEITAは業界団体として、健全な競争を尊重しつつ、新たな成長分野の把握や統計の精度向上に努めるとともに、報告書や刊行物をはじめとする調査結果の発信などを通して、市場の発展に貢献してまいります。今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

【本件に関する会員企業からのお問い合わせ先】

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）経営企画本部 政策渉外部

E-mail : policy_strategy@jeita.or.jp